

6月5日に令和5年第4回富里市議会定例会が開会いたしました。

富里市の夏の風物詩、特産品である「富里すいか」は最盛期を迎え、生産者の皆様が愛情を込めた、こだわりの甘さとシャリ感のある、美味しい「富里すいか」が出来上がっております。6月7日、水曜日には、富里市農業協同組合の組合長とともに岸田総理に、旬の「富里すいか」を直接お渡しさせていただき、富里農業のPRはもとより、本市の状況をお伝えしてまいります。

昨日、6月4日には、末廣農場が1周年を迎えることができ、指定管理者による記念イベントも開催されました。

これもひとえに、市民の皆様を始め、ご来場いただきました方々の支えがあったからこそと深く感謝しております。

今後も、末廣農場と旧岩崎久彌末廣農場別邸公園の一体的な活用を目指し、市外からの目的地として、また、地域に愛され、親しまれる場所を目指し、市民の日常的な交流の場としての機能を更に発揮できるよう、環境を整えていくとともに、各種イベントを継続し、にぎわいを創出してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を契機に、地域、学校、職場などでのコミュニケーションも増え

始め、小学校でも保護者を交えての運動会が開催されるなど、各種イベントや地域活動はコロナ禍前に戻りつつある現状があります。

本市でも、6月18日には、選手輸送や感染症対策等の観点から、従来、1万人としていた参加定員を5,500人とするなど運営方法の一部を見直し、「未来へ向けて^{リスタート}RESTART」のスローガンのもと第40回富里スイカロードレース大会を4年ぶりに開催いたします。

当日は、大会の最大の特徴である「給スイカ所」、「スイカサービスコーナー」によるすいかの提供を始め、市内小・中学校の手作り横断幕による応援、市民団体による沿道パフォーマンス、富里中学校吹奏学部、富里高校ジャズオーケストラ部による演奏など、市を挙げて、北は北海道、南は沖縄県を含む32都道府県から参加されるランナーの皆様をお迎えし、応援するための準備を進めております。

今後も、各種イベントなどを通して、市民の皆様の元気と笑顔があふれるまちとなるよう、努めてまいります。

(1) 物価高騰対策について

令和5年3月に決定された国の物価高騰対策を受け、国の交付金を活用し、市独自の3つの事業を実施するため、本定例会の補正予算(案)として提出させていただいております。

一つ目として、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている家計応援として、「とみさと家計応援クーポン」を、全世帯・全市民を対象に配布いたします。

二つ目として、子育て世帯の子どもの養育にかかる経費を軽減し、安心して子育てができる環境を整備することを目的に、未就学児と、高校生等を養育する子育て世帯に、「とみさと子ども未来応援臨時給付金」を支給いたします。

なお、同時に、県独自の対策として、子どもの習い事や体験活動などにかかる経費の負担軽減を目的に、小・中学生を養育する子育て世帯に支給する、「子どもの成長応援臨時給付金」の支給も行っております。

本市においては、0歳児から高校3年生までの児童を持つ子育て世帯に給付金を支給することで、子どもたちの健康で豊かな成長を応援するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境の充実に取り組んでまいります。

三つ目として、防犯灯を所有する区・自治会等に対し、管理する防犯灯電気料の負担軽減を図るため、「エネルギー価格高騰対策防犯灯電気料支援補助金」を交付いたします。

以上、3事業となります。

(2)「とみさと元気なまち宣言」に基づいた、新たな取組について

長期に及んだコロナ禍の影響で、特に、子どもたちの運動機会の減少などにより、体力の低下が顕著であることから、運動習慣の見直しの一つとして多様な動きが含まれる鬼ごっこを取り入れた幼児期の運動遊びをスタートしました。

本市では、とっさの時に身を守る動きや、将来的にスポーツに結びつく基本的な動きを含めた運動能力と、コミュニケーション能力などの社会性が総合的に発達していく市内の子ども園、保育園、幼稚園の園児を対象として展開しております。

まず、5月30日に^{いちりつ}市立向台こども園、5月31日に^{いちりつ}市立富里幼稚園で、「一般社団法人 鬼ごっこ協会」の協力の下、実際に子どもたちが、鬼ごっこを体験することができ、^{わたくしりつ}私立の青空保育園、日吉台幼稚園でも実施する予定としております。

なお、今後、「鬼ごっこ」を取り入れた効果を検証するとともに、これまで実施されてきた「体力・運動能力等の調査結果」のモニタリングを行うなど、児童のスポーツに親しむ資質・能力の育成、体力の向上につなげてまいります。

また、5月から、富里で育った野菜を使い塩分摂取を低く抑えるため、「とみさとやさい大作戦」と称し、市広報紙や市公式ホームページを通し、旬の野菜をたっぷりと使ったおすすめレシピを紹介しております。

レシピの作成に当たっては、富里市地区保健推進員協議会に御協力をいただき、毎月各地区の保健推進員が集まり、アイデアを出し合いながら試作し、メニューを考案しております。

5月はキャベツを使い、お肉でキャベツを巻いた「逆ロールキャベツ」、6月は、じゃがいもを使い、紅しょうがを入れた「しょうがポテトサラダ」などを紹介したとともに、6月から健診会場においてもレシピの紹介を始めております。

その他、歯科保健の分野におきましても、4月から「2歳児親子歯科健診」として、子どもと一緒に健診が受けられ、歯科衛生士による歯の磨き方やデンタルフロスの使い方など個別で指導を行っており、保護者の方からは、子どもだけでなく、自分の歯の状態も一緒にチェックできてよかったという声もいただいております。

また、市内在住の30歳以上の方を対象に、生活習慣病予防を図り、自らが健康な体を維持していくための意識付けとして「カラダ改善プロジェクト」もスタートいたしました。今後、教室では、順天堂大学の専門的なプログラムによる筋力トレーニングを中心に、栄養士や歯科衛生士による健康指導も行っております。

引き続き、宣言に基づいた、「食」・「運動」・「地域」という3つのキーワードのもと、これらに関する取組を相互に展開し、元気なまちとみさとを目指してまいります。

(3) 計画的な市街地の形成について

市街化調整区域への流通業務施設や工業施設の立地について、一部改正された、千葉県の「都市計画法に基づく開発行為等の基準に関する条例」を活用することで、富里市都市計画マスタープランに描いた将来都市像の実現に向けた土地利用の促進を図るため、市が区域指定の申出に係る必要な事項を定める条例の制定について、本議会に議案として提出させていただいております。

また、成田空港の更なる機能強化を契機として、成田空港の物流拠点機能の強化を図ることを目指す「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の弾力的な活用」につきましても、「富里市都市計画マスタープラン」等との整合を図りながら土地利用計画の検討に着手しております。

(4) 地域資源の発掘・磨き上げと活用について

新たな観光資源の創出として、進学や就労などで富里を離れた方々のふるさとを想う人と人との交流の場として、また、地域住民のコミュニケーションの場となるよう、8月26日、土曜日に、「ふるさとまつり」に代わる新たな夏のまつりとして、「とみちゃん夏まつり」を、5年ぶりに開催すること

といたしました。

当日は、皆さんが楽しんでいただけるよう、来場者参加型の市民団体によるステージイベントや富里産豚肉と冷たいドリンクなどを提供するドリンクガーデンや、縁日イベント、富里の夜空を彩る花火を打ち上げる予定となっております。

なお、旧岩崎家末廣別邸の^{あるじ}主であった岩崎久彌氏が、当時の『麒麟^{きりんビール}麦酒株式会社』の設立に大きく関わっていたことから、このたびの夏まつり会場内で提供される飲物については、麒麟ビール株式会社並びに麒麟ビバレッジ株式会社からの特別協賛をいただくものとなっております。

来場されたお客様に、改めて本市の農・自然・歴史・文化の魅力を広く知っていただくとともに、地域資源を活用した富里ならではのにぎわいの創出と、地域経済の活性化を図ってまいります。

(5) 観光客に魅力ある地域づくりについて

旧岩崎久彌末廣農場別邸公園は、建物補修を含めて整備途中ではありますが、少しでも多くの来場者の方々が楽しめる場所作りを行っているところです。

現在、当時の「久彌の畑」の再現を目指し、農業者の協力を得て、なす、さといも、ジャイアントカボチャ、落花生などの農作物の栽培や23種類のミックスフラワーによる花畑

作りを実施しており、6月下旬には、市内の小学校によるひまわりの苗植えを行う予定です。

「久彌の畑」でできた農作物につきましては、市内の子ども食堂への食材提供や、隣接する末廣農場との一体的な活用を踏まえた収穫体験を計画しております。

今後も、旧岩崎久彌末廣農場別邸公園と末廣農場の相互連携的な活用を促すとともに、市民の皆様が日常的に交流できる場所として、さらには、地域一体となって来訪者をもてなす、観光の拠点として展開してまいります。

(6) 芸術鑑賞機会の創出について

令和5年度とみさと教育プランにおいては、プロオーケストラによる公演を開催し、優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供を計画していますが、この度、千葉県がプロの演奏楽団を県内各地に派遣する「千葉県民芸術劇場公演」を富里市に招致し、8月26日、土曜日に開催の運びとなりました。

この県民芸術劇場は、千葉県が昭和61年度から開始し、毎年県内各地でコンサートが開催されており、本市では、平成14年度に市制施行を記念した事業で招致して以来となります。

このコンサートでは、子どもから大人まで楽しめるよう、多くの方に親しみのあるクラシックの名曲や、アニメーション映画の名曲を、千葉県唯一のプロオーケストラである「千葉交響楽団」に

演奏していただき、また、当日は、第68回日本音楽コンクール第2位など、多数の受賞歴のあるヴァイオリン奏者の奥村^{おくむら}愛^{あい}さんの出演が決定しております。

なお、今回のコンサートは、あらゆる年代の方に音楽に親んでいただくため、家族皆で鑑賞できるよう、0歳からの入場を可能とし、中学生までの児童・生徒の皆さんの入場料を無料としています。

(7) 平和・人権意識の向上について

現在、市民の皆様は、テレビやソーシャルメディアなどで、世界で起きている戦争の現状を目の当たりにし、戦争は過去のものではないと認識されていると思います。

そこで、令和元年度まで市内在住の中学1年生を、平和学習リーダーとして長崎に派遣していましたが、4年ぶりに再開するに当たり、対象者を高校3年生までに拡大し、平和学習リーダー派遣事業を実施いたします。

平和学習リーダーが、現地において肌で感じ、学び得たものを「とみさと平和 Week」や「活動報告会」などを通じて、市民全体で共有することで、改めて、「戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」を伝えてまいります。

(8) 協働のまちづくりの推進について

若者たち自らが、地域課題の解決策や若者の発想から展開される新たな施策を企画立案し、事業化を目指す若者プロジェクトを推進しております。

これまでの第1期生、第2期生の若者プロジェクトチームメンバーが、地域課題の解決やSDGsの目標達成に向け企画・実施した事業をきっかけに、若者たち自ら市民活動団体を立ち上げ、地域交流活動も行われるようになり、地域や事業者が若者プロジェクト事業を継承するなど、地域住民の意識改革や市民活動・地域の活性化をもたらしております。

令和5年度は、第3期生となる若者プロジェクトチームメンバーを15名募集し、若者が生み出すアイデアやパワーが、活気あふれる地域づくりへとつながり、「元気なまち富里」の姿を形成していくことを期待しております。

(9) 多文化共生の推進について

令和5年4月から、外国籍を有する職員を配置し、外国人支援窓口の開設日時を拡大しております。

窓口対応を行う外国人支援員5名のうち、3名はフィリピン国籍、1名はスリランカ国籍を有しており、英語、タガログ語、シンハラ語、タミル語などで対応できるほか、多言語音声翻訳機器などを利用し、外国人住民の方々に安心して御

相談いただける体制を整えております。

外国人支援窓口において、外国籍を有する職員を配置し、外国人住民に向けた行政サービスを提供しているのは、現在、成田空港圏で本市のみとなっており、新たな試みであります。

利用件数につきましても、令和5年5月26日現在で94件あり、前年度同時期と比較して約7倍の増となり、また、この6月からは、市役所内の外国人支援窓口に留まらず、出張相談やメール相談を開始するなど、身近な支援窓口となって、外国人住民の方々も、共に地域を創る富里市民であることを再認識していただき、多文化共生・共創のまちづくりにつながってまいります。

(10)「ワクワク！ 富里すいか学校給食Day！」について

市内の子どもたちが、すいかの名産地としての誇りを持ち、また、特産品のすいかを通じた郷土愛の醸成が図られるよう、令和3年4月の「すいか条例」制定後に継続してきた、「ワクワク！富里すいか学校給食Day！」を、本年は、6月13日、火曜日に実施いたします。

当日は、市内小・中学校の給食メニューで「富里すいか」を提供し、私も富里小学校で、児童と一緒に給食をいただくこととしております。また、4月17日の食農学習で植えた

すいかの苗の生育状況の確認や^{せいし}整枝作業を行い、7月の収穫
に向けた学習を合わせて行います。